

新たな森林環境管理体制を推進します。

スイスを参考として、森林の有する本来の機能である「生産・防災・生物多様性・レクリエーション」を一元的に管理する「奈良らしい新たな森林環境管理制度」の導入を目指します。

関連予算 H30:30百万円(H29:19百万円)

平成30年度の主な取組

- 新たな森林環境管理制度構築に向けた検討・準備及び林業事業者等への周知
 - ・リース林業教育センターへ総合アドバイスを委託
 - ・(仮称)森林環境管理条例制定に向けた検討 等
- 新たな森林環境管理体制構築に向けた検討・準備
 - ・リース林業教育センター短期講習へ県・市町村職員等を派遣
 - ・平成31(2019)年実施のリース林業教育センター実習生受入準備 等
- 新たな森林環境管理に必要な人材育成の仕組みについて検討・準備
 - ・(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー開校に向けたカリキュラムの検討 等
- (新)中高大連携森林学習プロジェクト

【経済と環境が両立する森林】

(スイス・ベルン州ツオリコッフェン)



スイス・リース林業教育センター

スイス・リース林業教育センターから受け入れた実習生

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、**県内への誘客を促進し、観光産業を振興**します。

インバウンド観光戦略20年ビジョンの策定に取り組みます。

インバウンド需要は止まることを知らず増幅を続けており、日本の各観光地による争奪戦の様相を呈しています。そこで、本県では、県と有志市町村が共同で「(仮称)奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン」の策定に取り組み、連携・協働して同ビジョンの実現推進を図ります。

関連予算 H30:9,453百万円(債務負担行為8,588百万円)(H29:5,531百万円)

平成30年度の主な取組

観光地としての奈良の魅力づくり(1)

○20年後に見込まれるリニア中央新幹線の「奈良市附近」駅設置を見据え、リニア中央新幹線のインバウンド観光需要などを積極的に取り込んだ地域振興の実現を目指したビジョンの検討を進めます。

- ①滞在型観光の充実「泊まる奈良」
- 宿泊施設の質と量の充実(Accommodation)
 - ・大宮通り・奈良公園周辺における宿泊施設充実のための環境整備(大宮通り新ホテル・交流拠点整備、吉城園周辺地区の整備、高畑町周辺地区の整備)
 - ・海外ホテル事業者等を対象とした誘致活動
 - ・(新)住宅宿泊事業法への対応
- 滞在環境の快適性の向上(Amenity)
 - ・(新)外国人観光客の安心・快適な県内移動・周遊と滞在を促進するため、市町村等による受入環境整備を促進
 - ・外国人観光客の県内周遊と滞在を促進するため、市町村等による地域ならではの先駆的で意欲的な取組を支援
 - ・(新)歴史等の知識を有し、語学能力に優れた奈良県内で活躍する地域通訳案内士を育成
 - ・(新)JR・近鉄奈良駅周辺の沿道景観づくり等
 - ・奈良県外国人観光客交流館「猿沢イン」の運営
 - ・多言語コールセンターの運営 (新)医療機関向け
- 食の魅力向上(Appetite)
 - ・NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)周辺の賑わいづくりを推進



JWマリオットホテル奈良



「猿沢イン」での文化交流体験イベントの様子